



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 日東富士製粉株式会社
 コード番号 2003 URL <http://www.nittofuji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 近藤 和威
 (氏名) 松本 正

TEL 03-3553-8781

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	37,061	△7.7	1,549	△29.9	1,843	△24.5	990	△42.2
22年3月期第3四半期	40,145	△6.4	2,209	8.1	2,441	9.0	1,713	51.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	21.61	—
22年3月期第3四半期	37.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	37,590	21,629	57.5	471.92
22年3月期	35,438	21,347	60.2	465.60

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 21,629百万円 22年3月期 21,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	9.00	12.00
23年3月期	—	3.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,600	△3.6	2,110	△16.6	2,400	△14.8	1,390	△32.1	30.32

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 46,923,646株 22年3月期 46,923,646株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,090,271株 22年3月期 1,075,198株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 45,839,593株 22年3月期3Q 45,915,738株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点での予測数値であり、将来の様々な要因により変動する場合があります。業績予想に関する事項については添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの中核である「製粉及び食品事業」につきましては、昨年10月より外国産小麦政府売渡制度に「即時販売方式」が導入され、また、国の「食糧麦備蓄対策事業」がスタートし、外国産小麦に関わる制度が大きく変化しました。当第3四半期の経営成績は、主力の小麦粉は積極的な販売活動により販売数量は若干増加し、また、提案型営業の成果によりミックス粉の売上も若干増加しました。しかし、昨年5月の販売価格改定や副産物相場の下落の影響もあり、売上高、営業利益とも前年同期間比減少しました。

「外食事業」の(株)さわやか(当連結対象期間1月～9月)につきましては、記録的な猛暑にも拘わらずケンタッキーフライドチキン店の売上は堅調に推移し、売上高は前年同期間比若干増加しましたが、資産除去債務の適用等により営業利益は前年同期間比減少しました。

「運送事業」の日東富士運輸(株)につきましては、運賃収入は昨年並みとなりましたが、燃料費の高騰や車両修繕費等経費の増加により、営業利益は前年同期間比減少しました。

以上の結果、当社グループの第3四半期業績は、売上高370億6千1百万円(前年同期間比7.7%減)、経常利益18億4千3百万円(前年同期間比24.5%減)、四半期純利益9億9千万円(前年同期間比42.2%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。これによるセグメント区分の変更はありませんが、セグメントの名称を、「製粉及び食品業」から「製粉及び食品事業」に、「その他の事業」から「運送事業」にそれぞれ変更しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態は、総資産は受取手形及び売掛金の増加と、国の食糧麦備蓄対策事業対応による原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末比21億5千1百万円の増加となりました。純資産は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2億8千2百万円の増加となり、自己資本比率は57.5%になりました。

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、42億8千2百万円となり、前連結会計年度末より7億4千1百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益に減価償却費、仕入債務の増加額等を加算した額から、たな卸資産の増加額や法人税等の支払額等を控除し、13億1千8百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入、有形固定資産の取得等により、△11億9千3百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少、配当金の支払等により、△8億5千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月30日に公表致しました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これに伴う損益に与える影響額は、営業利益及び経常利益がそれぞれ23百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が180百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は306百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,262	5,554
受取手形及び売掛金	9,100	8,273
商品及び製品	2,161	1,913
原材料及び貯蔵品	2,773	1,470
その他	561	614
貸倒引当金	△10	△20
流動資産合計	19,848	17,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,605	3,434
機械装置及び運搬具(純額)	3,045	2,939
土地	4,219	4,219
リース資産(純額)	2	2
その他(純額)	459	303
有形固定資産合計	11,332	10,900
無形固定資産		
のれん	24	5
その他	497	537
無形固定資産合計	521	542
投資その他の資産		
投資有価証券	4,687	4,892
その他	1,308	1,396
貸倒引当金	△107	△99
投資その他の資産合計	5,888	6,189
固定資産合計	17,742	17,632
資産合計	37,590	35,438

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,878	2,280
短期借入金	1,300	1,300
リース債務	0	0
未払法人税等	28	788
賞与引当金	211	511
役員賞与引当金	22	34
その他	1,807	1,567
流動負債合計	8,248	6,483
固定負債		
長期借入金	4,950	5,250
リース債務	1	2
退職給付引当金	812	447
役員退職慰労引当金	180	193
負ののれん	616	710
資産除去債務	335	—
その他	816	1,004
固定負債合計	7,712	7,608
負債合計	15,961	14,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	14,679	14,239
自己株式	△273	△268
株主資本合計	20,955	20,520
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	673	827
評価・換算差額等合計	673	827
純資産合計	21,629	21,347
負債純資産合計	37,590	35,438

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	40,145	37,061
売上原価	31,315	28,757
売上総利益	8,830	8,303
販売費及び一般管理費		
販売手数料	609	564
販売運賃	1,620	1,734
貸倒引当金繰入額	9	6
給料及び手当	1,585	1,589
賞与引当金繰入額	117	119
役員賞与引当金繰入額	20	22
退職給付引当金繰入額	168	180
役員退職慰労引当金繰入額	23	29
その他	2,466	2,505
販売費及び一般管理費合計	6,620	6,753
営業利益	2,209	1,549
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	90	86
負ののれん償却額	97	94
持分法による投資利益	38	70
その他	124	160
営業外収益合計	351	413
営業外費用		
支払利息	107	85
その他	12	34
営業外費用合計	119	120
経常利益	2,441	1,843
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	221	0
貸倒引当金戻入額	2	5
その他	—	2
特別利益合計	227	12
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	25	27
減損損失	8	—
店舗閉鎖損失	16	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	156
その他	4	2
特別損失合計	54	187
税金等調整前四半期純利益	2,615	1,668
法人税、住民税及び事業税	999	581
法人税等調整額	△98	96
法人税等合計	901	677
少数株主損益調整前四半期純利益	—	990
四半期純利益	1,713	990

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,615	1,668
減価償却費	882	924
減損損失	8	—
のれん償却額	2	3
負ののれん償却額	△97	△94
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△229	△299
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	172	364
受取利息及び受取配当金	△92	△88
支払利息	107	85
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△70
投資有価証券売却損益 (△は益)	△217	2
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△3
固定資産除却損	25	27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	156
売上債権の増減額 (△は増加)	264	△841
たな卸資産の増減額 (△は増加)	61	△1,550
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	267	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	396	2,598
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	186	△77
その他	10	△31
小計	4,324	2,677
利息及び配当金の受取額	108	105
利息の支払額	△107	△85
法人税等の支払額	△853	△1,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,472	1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△450
有形固定資産の取得による支出	△640	△819
有形固定資産の売却による収入	5	5
投資有価証券の取得による支出	△115	△13
投資有価証券の売却による収入	328	8
差入保証金の回収による収入	86	119
その他	△38	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△674	△1,193

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△252	△300
配当金の支払額	△367	△550
自己株式の取得による支出	△3	△4
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△623	△855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,169	△741
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	43	—
現金及び現金同等物の期首残高	2,598	5,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,811	4,282

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

	製粉及び 食品業	外食事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	35,362	4,589	193	40,145	—	40,145
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	1,769	1,776	(1,776)	—
計	35,368	4,589	1,963	41,921	(1,776)	40,145
営業利益	1,872	177	136	2,186	22	2,209

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社が、小麦その他農産物等を原料として小麦粉・ふすま・ミックス粉・食品等の製造を行い、総代理店の三菱商事(株)を経由し、隅田商事(株)ほかの特約店等を通じて販売しております。また、(株)さわやかが、ケンタッキーフライドチキン等のファーストフード店舗経営を行い、日東富士運輸(株)が、当社の原料小麦及び製品の運送を行っております。

したがって、当社グループは、製品及びサービスを基礎とした事業別セグメントから構成されており、「製粉及び食品事業」、「外食事業」、「運送事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,166	4,715	179	37,061	—	37,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	—	1,816	1,823	△1,823	—
計	32,174	4,715	1,995	38,885	△1,823	37,061
セグメント利益	1,282	162	100	1,545	4	1,549

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。